メッセージ　8

円熟の過程

聖書：創 47:7，10．ヘブル 6:1．コロサイ 1:28-29．エペソ 4:14

Ⅰ．創世記第 37 章から第 45 章は、ヤコブが円熟する過程についての記録です：

A．創世記第 27 章で、わたしたちは押しのける者を見ます。第 37 章で、造り変えられた人を見ます。そして第 45 章の終わりで、円熟した人を見ます。

B．造り変えられるとは、わたしたちの天然の命において新陳代謝的に変えられることです。円熟するとは、わたしたちを変える神聖な命で満たされることです――ヘブル 6:1：

1．造り変えの最終段階は円熟、すなわち命の豊満です：

a．神の永遠の定められた御旨は、わたしたちの造り変えと円熟を通してのみ完成されることができます――創 1:26．コロサイ 1:28．2:19。

b．円熟とは、神聖な命がわたしたちの中へと何度も何度も分け与えられて、ついにはわたしたちが命の豊満を持つという事柄です――ヨハネ 10:10。

2．円熟とは、度量が広げられる事柄です――詩 4:1：

a．命における円熟とは、聖霊の取り扱いを受けた総合計です――ヘブル 12:5-11。

b．人々は命において円熟した人を見るとしても、その人が長年にわたって毎日ひそかに受けてきた、積み重なった聖霊の取り扱いを見ることはできません――Ⅱコリント 1:8-10．創 47:7，10。

3．神は主権をもって人、事、物を用いて、わたしたちを満たしているあらゆる物からわたしたちを空にし、占有しているあらゆる物を取り除き、わたしたちの度量を増し加えて、神で満たされるようにしてくださいます――ルカ 1:53．マタイ 5:6。

C．ヤコブの生涯が啓示しているのは、わたしたちに起こるすべての事が神の主権の下にあり、わたしたちの造り変えと円熟のためであるということです。偶然は何一つありません：

1．ヤコブは円熟するために、まず彼の心の宝であるヨセフを失わなければなりませんでした――創 37:31-35。

2．円熟した信者が学んでいるのは、神があわれみ深く、すべてに十分であって、あらゆる種類の状況における自分の必要に応じてくださるということです――43:11，13-14．17:1．ピリピ 1:19-21 前半．4:11-12．参照、Ⅰテモテ 6:6-8。

3．彼の信頼と安息は完全に、すべてに十分な神のあわれみの中にあり、もはや自分自身や自分の能力の中にはありません――ローマ 9:16。

Ⅱ．雅歌第 6 章 13 節において、キリストを愛する者は、造り変えのさまざまな段階を経過して、キリストの命の中で円熟して、シュラムの女となっています。彼女はキリストの複製、複写であり、彼と結婚するのにふさわしくなっています：

A．「シュラムの女」は、「ソロモン」の女性形です。これが示しているのは、彼女は命が円熟して、神の永遠のエコノミーを完成するために、命、性質、表現、機能においてキリストと同じになっているということです――雅 6:13。

B．雅歌第 3 章において、キリストを愛する者は円熟の段階に到達し、輿となっており、

最終的に主は彼女をエルサレムであると見ています――雅 3:9-10．6:4：

1．彼女がこの段階に到達したのは、自分の天然の人が砕かれることによって、また自分の意志が服従させられることによってです――3:6．4:1，4。

2．キリストを愛する者は復活における新創造として、キリストの昇天の中で生きることを通して、キリストの命の豊富の中で円熟しており、それによって神の建造、すなわち神の聖なる所となっています――6:4。

Ⅲ．神聖な種がわたしたちの中へとまかれており、わたしたちはその神聖な種の中にある神聖な命と神聖な性質の発展を経験する必要があります。それは、わたしたちが永遠の王国へと豊かに入るためです――Ⅱペテロ 1:1，4-11：

A．わたしたちはすばらしい、同じ尊い信仰を割り当てられています。この信仰は、すべてを含む種です――1 節．Ⅰペテロ 1:23：

1．すべての神聖な豊富はこの種の中にあるのですが、わたしたちは勤勉になって、すべての神聖な豊富を発展させなければなりません。成長して円熟へと至ることは、わたしたちがすでに受けているものを発展させることです――Ⅱペテロ 1:1-8．3:18。

2．これらの美徳を発展させることによって、わたしたちは命において成長し、最終的に円熟に到達し、キリストに満ち、資格づけられ装備されて、来たるべき王国で王となります――エペソ 4:13-15．Ⅱペテロ 1:11。

3．わたしたちは完全な発展と円熟を持つ必要があります。それは、信仰という種から、美徳や知識という根、自制という幹、忍耐や敬虔という枝々を通して、兄弟愛や愛という花と実へと至ります――5-7 節。

4．わたしたちの内側の神聖な性質の究極的な発展は、愛「アガペ（agape）」です。このギリシャ語は新約の中で神聖な愛を指すのに用いられています。神聖な愛とは、神が彼の性質において何であるかです――7 節．Ⅰヨハネ 4:8，16：

a．わたしたちは割り当てられた信仰という神聖な種を発展させて、それを神聖でさらに高貴な愛における完成へと至らせる必要があります――Ⅱペテロ 1:5-7。

b．わたしたちは神聖な性質にあずかり、命において成長して円熟へと至るとき、愛である神で満たされます。そしてわたしたちは愛の人になり、さらには愛そのものにさえなります――エペソ 3:19。

B．わたしたちは勤勉になって、神聖な命と性質の成長、発展、円熟を追い求めるべきです。それは、わたしたちが永遠の王国へと豊かに入るためです――Ⅱペテロ 1:10-11。

Ⅳ．ヘブル人への手紙におけるパウロの負担は、信者たちを救いの初期の段階から導き出して、円熟へともたらすことでした――ヘブル 5:11―6:5：

A．円熟へともたらされるとは、キリストの天の務めと神のエコノミーの道とに関する義の言葉へと、すなわち固い食物である言葉へともたらされることです――5:12-14．6:1：

1．ヘブル人への手紙が書かれたのは、信者たちをキリストの地上の務めに関する良い言葉から、キリストの天の務めに関する義の言葉へともたらすためであり、それによって信者たちを円熟へともたらすためでした――1:3．4:14-16．6:20．7:25．

8:1-2。

2．義の言葉は、神の公正と義の思想や神の民に対する行政上の取り扱いを具体的に示しています――5:13。

3．義は神の王国の事柄です。義は神の行政において神から出てきた結果であって、神の行政や統治と関係があります――マタイ 6:33．詩 89:14．97:2．イザヤ 32:1。

B．主はわたしたちを円熟へともたらしたいのですが、わたしたちは彼の恵み深い働きと協力しなければなりません――ヘブル 6:1：

1．わたしたちはキリストと共に彼の到達したものにあずかる必要があります――1:9．3:14。

2．わたしたちは勤勉になって、残された安息日の安息へ入る必要があります――4:9, 11。

3．わたしたちは、あわれみを受け、恵みを見いだすために、恵みの御座に進み出る必要があります――16 節。

4．わたしたちは固い食物を食べて、キリストをメルキゼデクの位による大祭司として享受する必要があります――5:9-10，14。

Ⅴ．パウロの務めの目標は、キリストの中で円熟し、完全に成長したすべての人を、一人の新しい人のためにささげることでした――コロサイ 1:28-29．3:10-11：

A．コロサイ第 1 章 28 節で「完全に成長した」と訳されたギリシャ語は、「完全な」、「完全に整えられた」、「円熟した」とも訳すことができます。

B．パウロの務めは、キリストを人の中へと分与して、彼らがキリストの中で円熟して完全な成長へと至ることによって、完全になり、完全に整えられるようにすることでした。

C．一人の新しい人のために、わたしたちは労苦し奮闘して、キリストの中で完全に成長したすべての信者をささげ、キリストを命として彼らに供給して、彼らがキリストによって生き、キリストと共に成長して円熟へと至ることができるようにする必要があります――3:4．2:19。

D．わたしたちが罪人に福音を宣べ伝えること、また聖徒たちと交わることの目標は、キリストを彼らの中へと供給することです。それは、彼らが命において円熟して、キリストの中で完全に成長してささげられるためです。これは新しい人の成長のためです――3:10-11．エペソ 4:13-14。

E．わたしたちは実際と実行において一人の新しい人となるために、すべての事でキリストの中へと成長し込む必要があります――15-16，24 節：

1．わたしたちはすべての事でキリストの中へと成長し込むとき、もはや異なる種類の人々ではなくなります。むしろ、わたしたちは自然にキリストをわたしたちのパースンまた命とします――コロサイ 3:4，10-11．エペソ 3:17。

2．わたしたちがすべての事でキリストの中へと成長し込んで完全に成長した人となるとき、わたしたちはみなキリストの中で一となります。これは、宇宙的な一人の新しい人であって、神の永遠の定められた御旨を成就します――11 節．4:13-14，24．創 1:26。

©2026 Living Stream Ministry